

令和6年度 学校教育自己診断 結果と分析

大阪府立とりかい高等支援学校

2025/3/5

生徒												保護者												教員												分析																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<備考> ①それぞれの項目に対する選択肢は、1. よくあてはまる、2. ややあてはまる、3. あまりあてはまらない、4. まったくあてはまらない の4つで、判断できないものやわからないものは選択せずに無回答でかまわないとしている。 ②R6年度の回答数は、生徒は93人中81人(87%)、保護者は93人中80人(86%)、教員は41人中41人(100%)であった。 ③R6年度は、すべてGoogleフォームで実施した(生徒はGoogleクラスルーム、保護者は「さくら連絡網」、校務用Outlookメールで配信)。 ④右端の分析の欄には、学校経営計画に記載している項目や肯定率が低い項目についての分析を中心に記述した。 ⑤生徒、保護者、教員とも回答母数が少ないので、1人の変動でも%の数値が大きく変動しているように見えてしまうため、回答の選択肢1～4のそれぞれの人数にも注目して分析を行った。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
評価 ジャンル	No.	生徒										評価 ジャンル	No.	保護者										評価 ジャンル	No.	教員										・保護者「1子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」の肯定率は高いが、生徒「1学校へ行くのが楽しい」の肯定率は保護者よりは毎年低い。また、保護者「2学校行事は、生徒に合わせて工夫されている」では初めて肯定率100%となった。生徒自身は、楽しいことだけではなく、社会に出るにあたっての自身の課題や人間関係のより良い構築についても向き合っているので楽しさだけではなくと思われる。引き続き、生徒からのニーズもふまえた学校行事、生徒会、委員会活動などを行い、生徒の成長や学校生活の支援をしていきたい。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
① 学校生活	1	学校へ行くのが楽しい。	R4	42	25	10	12	2	91	73.6%	24.2%	2.2%	① 学校生活	1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	R4	40	33	10	2	0	85	85.9%	14.1%	0.0%	① 学校生活				R4	26	12	3	0	1	42	90.5%	7.1%	2.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			R5	37	33	13	5	0	88	79.5%	20.5%	0.0%				R5	34	31	6	3	0	74	87.8%	12.2%	0.0%					R5	19	14	5	0	2	40	82.5%	12.5%	5.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			R6	30	29	17	5	0	81	72.8%	27.2%	0.0%				R6	38	35	4	3	0	80	91.3%	8.8%	0.0%					R6	20	18	3	0	0	41	92.7%	7.3%	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	2	学校行事は楽しみである。	R4	50	22	6	11	2	91	79.1%	18.7%	2.2%		2	学校行事は、生徒に合わせて工夫されている。	R4	46	30	5	0	4	85	89.4%	5.9%	4.7%			1	教員は、学校行事が魅力あるものとなるように工夫や改善を行っている。	R4	26	12	3	0	1	42	90.5%	7.1%	2.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			R5	51	29	5	3	0	88	90.9%	9.1%	0.0%				R5	43	27	2	1	1	74	94.6%	4.1%	1.4%					R5	20	18	2	0	0	40	95.0%	5.0%	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			R6	40	30	7	4	0	81	86.4%	13.6%	0.0%				R6	54	26	0	0	0	80	100.0%	0.0%	0.0%					R6	20	18	3	0	0	41	92.7%	7.3%	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	3	生徒会・委員会活動で学校が良くなっていると思う。	R4	45	27	9	9	1	91	79.1%	19.8%	1.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

④ 進路指導	No.	生徒	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	評価 ジャンル	No.	保護者	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	評価 ジャンル	No.	教員	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	生徒「13将来の進路や生き方について考える機会がある」で肯定率が下がったが、本校では随時、職場実習に行っているので、該当する授業の出席のタイミングが合わなかったからかもしれない。引き続き、職場実習も含め、普段の授業の中で折に触れて進路や生き方について考える機会を意識して設けていく。 ・教員「11生徒の興味・関心や適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導が行われている」で肯定率が下がった。生徒の希望と現実のギャップや教員の生徒に対する進路指導観の違いなどが考えられるが、就職率や定着率は高い。引き続き、学校全体として「就労を通じた社会的自立」という目標を共有しながら、生徒個別に対応した進路指導を教員間で話し合い、保護者や関係機関とも連携しながらすすめていく。											
				13	将来の進路や生き方について考える機会がある。	R4	53	26	10	2	0	91					86.8%	13.2%	0.0%	8	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	R4	50	29	5					0	1	85	92.9%	5.9%	1.2%	10	生徒が将来の進路や生き方について考える機会を多く設けている。	R4		31	7	3	0	1	42	90.5%	7.1%	2.4%		
				R5	44	38	4	1	1	88	93.2%	5.7%					1.1%	R5	45			22	5	0	2					74	90.5%	6.8%	2.7%	R5	29			10		1	0	0	40	97.5%	2.5%	0.0%				
				R6	35	37	6	2	1	81	88.9%	9.9%					1.2%	R6	46			29	3	1	1					80	93.8%	5.0%	1.3%	R6	26			11		3	0	1	41	90.2%	7.3%	2.4%				
				14	学校は、進路についての情報を知らせてくれる。	R4	57	28	4	2	0	91					93.4%	6.6%	0.0%	8	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	R4	50	29	5					0	1	85	92.9%	5.9%	1.2%	11	生徒の興味・関心や適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導が行われている。	R4		28	11	0	1	2	42	92.9%	2.4%	4.8%		
						R5	47	38	3	0	0	88					96.6%	3.4%	0.0%			R5	45	22	5					0	2	74	90.5%	6.8%	2.7%			R5		19	17	4	0	0	40	90.0%	10.0%	0.0%		
						R6	45	31	3	1	1	81					93.8%	4.9%	1.2%			R6	46	29	3					1	1	80	93.8%	5.0%	1.3%			R6		26	10	5	0	0	41	87.8%	12.2%	0.0%		
				15	先生以外の外部の方から、進路についての話を聞くのは役に立ったと思う。	R4	49	31	8	3	0	91					87.9%	12.1%	0.0%	8	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	R4	50	29	5					0	1	85	92.9%	5.9%	1.2%	12	進路指導において、福祉や労働機関等の関係諸機関と緊密な連携ができています。	R4		25	15	0	0	2	42	95.2%	0.0%	4.8%		
						R5	48	30	8	2	0	88					88.6%	11.4%	0.0%			R5	45	22	5					0	2	74	90.5%	6.8%	2.7%			R5		25	13	1	0	1	40	95.0%	2.5%	2.5%		
	R6	46	29			3	2	1	81	92.6%	6.2%	1.2%	R6	46	29	3	1	1	80			93.8%	5.0%	1.3%	R6	25	14	2	0	0	41	95.1%	4.9%	0.0%																
	評価 ジャンル	No.	生徒	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	評価 ジャンル	No.	保護者	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	評価 ジャンル	No.	教員	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	生徒「16先生は、いじめなどについて困っていることがあれば、真剣に対応してくれる」で否定率が下がった。引き続き、生徒の様子に気を配り、困っていることなどがあれば親身に生徒の相談に乗る。										
	め⑤ 対い 応じ	16	先生は、いじめなどについて困っていることがあれば、真剣に対応してくれる。	R4	48	29	7	6	1	91	84.6%	14.3%	1.1%	め⑤ 対い 応じ	9	教員は、いじめなど子どもが困っていることがあれば、しっかり応じてくれる。	R4	46	31	1	0	7	85	90.6%	1.2%	8.2%	め⑤ 対い 応じ	13	いじめが起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	R4	26	13	2	0	1	42	92.9%	4.8%	2.4%	・保護者「11性に関する指導は、段階を追って計画的に実施されている」で肯定率が下がった。生徒の実態に応じて、保護者の意向も必要に応じて伺いながら、指導をしていく。また、無回答の数が例年多いので、指導内容を積極的に保護者に伝えていく必要がある。 ・教員「15道徳教育は、年間計画に基づき、継続して行われている」は肯定率が上がったが、否定率も高いので、道徳の年間計画を把握して普段からの指導に意識しやすいように、担当者から道徳の年間計画表を年度初めに教員に示す。										
R5				46	32	8	2	0	88	88.6%	11.4%	0.0%	R5				40	28	2	0	4	74	91.9%	2.7%	5.4%	R5				19	20	1	0	0	40	97.5%	2.5%	0.0%												
R6				47	24	3	4	3	81	87.7%	8.6%	3.7%	R6				46	28	3	1	2	80	92.5%	5.0%	2.5%	R6				18	20	1	0	2	41	92.7%	2.4%	4.9%												
⑥ 人権教育（道徳、 育含む） 性教	No.	生徒	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	評価 ジャンル	No.	保護者	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	評価 ジャンル	No.	教員	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	・保護者「13学校以外の相談機関の情報を学校から必要に応じて入手できる」で例年、否定率と無回答率が高めである。引き続き、保護者説明会や保護者向け講演会により多くの保護者が参加できるようにオンライン参加も実施したり、欠席者に後日資料を配付したりする。また、懇談時や連絡帳、電話で個別に相談先の問い合わせがあった際は、適切に保護者に情報提供をする必要がある。											
				17	いのちや人権の大切さについての学習はわかりやすい。	R4	46	34	5	6	0	91					87.9%	12.1%	0.0%	10	学校は、生命を大切にする心や人権を尊重する態度を育てようとしている。	R4	39	35	2					0	9	85	87.1%	2.4%	10.6%	14	教員は、生徒が命の大切さや人権尊重の態度を身につけるよう配慮している。	R4		26	12	3	0	1	42	90.5%	7.1%	2.4%		
						R5	47	37	4	0	0	88					95.5%	4.5%	0.0%			R5	33	33	3					0	5	74	89.2%	4.1%	6.8%			R5		15	21	4	0	0	40	90.0%	10.0%	0.0%		
						R6	43	31	3	1	3	81					91.4%	4.9%	3.7%			R6	43	34	0					1	2	80	96.3%	1.3%	2.5%			R6		17	21	2	1	0	41	92.7%	7.3%	0.0%		
				18	社会のルールについての学習はわかりやすい。	R4	55	30	4	2	0	91					93.4%	6.6%	0.0%	11	性に関する指導は、段階を追って計画的に実施されている。	R4	31	38	4					0	12	85	81.2%	4.7%	14.1%	16	性に関する指導は、生徒の実態に応じて適切に行われている。	R4		10	19	11	0	2	42	69.0%	26.2%	4.8%	・保護者「17学校は、子どもが地域や社会と交流する機会を設けている」で肯定率が下がりが、例年無回答者も一定いる。引き続き、普段の授業の中での地域交流や休日の地域の行事参加について、生徒の頑張りとともに積極的に連絡帳に書いたり、学校HPにその様子を掲載していることを積極的に保護者に知らせたりしていく必要がある。	
						R5	46	38	3	1	0	88					95.5%	4.5%	0.0%			R5	21	38	6					1	8	74	79.7%	9.5%	10.8%			R5		7	20	12	1	0	40	67.5%	32.5%	0.0%		
						R6	37	38	3	1	2	81					92.6%	4.9%	2.5%			R6	29	31	11					0	9	80	75.0%	13.8%	11.3%			R6		13	21	5	1	1	41	82.9%	14.6%	2.4%		
				19	性についての学習はわかりやすい。	R4	39	38	7	7	0	91					84.6%	15.4%	0.0%	11		性に関する指導は、段階を追って計画的に実施されている。	R4	31	38					4	0	12	85	81.2%	4.7%	14.1%		16		性に関する指導は、生徒の実態に応じて適切に行われている。	R4	15	22	5	0	0	42	88.1%	11.9%	0.0%
						R5	38	43	5	2	0	88					92.0%	8.0%	0.0%				R5	21	38					6	1	8	74	79.7%	9.5%	10.8%					R5	11	18	9	2	0	40	72.5%	27.5%	0.0%
R6	34	40	4			2	1	81	91.4%	7.4%	1.2%	R6	29	31	11	0	9	80	75.0%				13.8%	11.3%	R6	11	24	5	0	1	41	85.4%	12.2%	2.4%																
評価 ジャンル	No.	生徒	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	評価 ジャンル	No.	保護者	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	評価 ジャンル	No.	教員	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	・保護者「13学校以外の相談機関の情報を学校から必要に応じて入手できる」で例年、否定率と無回答率が高めである。引き続き、保護者説明会や保護者向け講演会により多くの保護者が参加できるようにオンライン参加も実施したり、欠席者に後日資料を配付したりする。また、懇談時や連絡帳、電話で個別に相談先の問い合わせがあった際は、適切に保護者に情報提供をする必要がある。											
⑦ 情報提供	No.	生徒	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	評価 ジャンル	No.	保護者	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	評価 ジャンル	No.	教員	年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	・保護者「17学校は、子どもが地域や社会と交流する機会を設けている」で肯定率が下がりが、例年無回答者も一定いる。引き続き、普段の授業の中での地域交流や休日の地域の行事参加について、生徒の頑張りとともに積極的に連絡帳に書いたり、学校HPにその様子を掲載していることを積極的に保護者に知らせたりしていく必要がある。											
				12	学習の内容や学校生活の様子を懇談や連絡帳等によって、知ることができる。	R4	48	33	2	1	1	85					95.3%	3.5%	1.2%	13	学校以外の相談機関の情報を学校から必要に応じて入手できる。	R4	29	38	9					2	7	85	78.8%	12.9%	8.2%	17	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	R4		18	21	2	0	1	42	92.9%	4.8%	2.4%		
						R5	56	16	2	0	0	74					97.3%	2.7%	0.0%			R5	31	31	7					2	3	74	83.8%	12.2%	4.1%			R5		13	26	1	0	0	40	97.5%	2.5%	0.0%		
						R6	53	26	1	0	0	80					98.8%	1.3%	0.0%			R6	34	33	9					1	3	80	83.8%	12.5%	3.8%			R6		13	22	6	0	0	41	85.4%	14.6%	0.0%		
				13	学校以外の相談機関の情報を学校から必要に応じて入手できる。	R4	29	38	9	2	7	85					78.8%	12.9%	8.2%	13	学校以外の相談機関の情報を学校から必要に応じて入手できる。	R4	29	38	9					2	7	85	78.8%	12.9%	8.2%	17	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	R4		18	21	2	0	1	42	92.9%	4.8%	2.4%		
						R5	31	31	7	2	3	74					83.8%	12.2%	4.1%			R5	31	31	7					2	3	74	83.8%	12.2%	4.1%			R5		13	26	1	0	0	40	97.5%	2.5%	0.0%		
						R6	34	33	9	1	3	80					83.8%	12.5%	3.8%			R6	34	33	9					1	3	80	83.8%	12.5%	3.8%			R6		13	22	6	0	0	41	85.4%	14.6%	0.0%		
				14	学校が保護者に出す文書や事務連絡等で、必要な内容や情報が提供されている。	R4	48	30	7	0	0	85					91.8%	8.2%	0.0%	14	学校が保護者に出す文書や事務連絡等で、必要な内容や情報が提供されている。	R4	48	30	7					0	0	85	91.8%	8.2%	0.0%	17	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	R4		18	21	2	0	1	42	92.9%	4.8%	2.4%		
						R5	42	29	3	0	0	74					95.9%	4.1%	0.0%			R5	42	29	3					0	0	74	95.9%	4.1%	0.0%			R5		11	18	9	2	0	40	72.5%	27.5%	0.0%		
R6	53	22	2			1	2	80	93.8%</																																									

																評価 ジャンル	No.	教員							年	1	2	3	4	無	計	肯定	否定	無	・教員「23教員は、学校の運営や改善に役立つよう、積極的に意見や考えを発信している」、教員「26初任者等、経験の少ない教員を学校全体で育成する体制が取れている」で例年否定率が高い。例年、初任者、2年め、10年めの教員は校内で研究授業と研究協議を対象教員がいれば行っているので、引き続きより多くの教員の参加を呼びかける。また、初任者、2年め、10年めの教員同士での授業見学も呼びかける。また、例年否定率が低い項目について、教員全体から考えや改善案などの意見を聞くことで、低い原因を調査し、次年度の改善につなげる。
																⑪ 学校組織・教育活動の改善	22	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	R4	12	22	3	1	4	42	81.0%	9.5%	9.5%							
																			R5	11	25	4	0	0	40	90.0%	10.0%	0.0%							
																			R6	16	22	2	1	0	41	92.7%	7.3%	0.0%							
																23	教員は、学校の運営や改善に役立つよう、積極的に意見や考えを発信している。	R4	11	22	5	2	2	42	78.6%	16.7%	4.8%								
																		R5	10	19	10	1	0	40	72.5%	27.5%	0.0%								
																		R6	12	17	7	2	3	41	70.7%	22.0%	7.3%								
																24	会議が教員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。	R4	9	22	9	1	1	42	73.8%	23.8%	2.4%								
																		R5	6	23	8	2	1	40	72.5%	25.0%	2.5%								
																		R6	14	17	8	2	0	41	75.6%	24.4%	0.0%								
																25	業務上、相談できる相手がいる。	R4	9	19	11	3	0	42	66.7%	33.3%	0.0%								
																		R5	18	18	4	0	0	40	90.0%	10.0%	0.0%								
																		R6	16	18	7	0	0	41	82.9%	17.1%	0.0%								
																26	初任者等、経験の少ない教員を学校全体で育成する体制が取れている。	R4	8	15	14	4	1	42	54.8%	42.9%	2.4%								
																		R5	6	18	12	4	0	40	60.0%	40.0%	0.0%								
																		R6	9	15	12	4	1	41	58.5%	39.0%	2.4%								
																27	研修・研究に参加した成果を、他の教員に伝える機会が多く設けられている。	R4	7	22	7	3	3	42	69.0%	23.8%	7.1%								
																		R5	5	19	15	1	0	40	60.0%	40.0%	0.0%								
																		R6	8	17	14	2	0	41	61.0%	39.0%	0.0%								
																28	教員の服務規律への自覚が高い。	R4	15	20	5	0	2	42	83.3%	11.9%	4.8%								
																		R5	13	21	5	1	0	40	85.0%	15.0%	0.0%								
																		R6	15	19	6	1	0	41	82.9%	17.1%	0.0%								